

三島市消防団年報

— 令和7年度版 —



三島市消防団

～ 目 次 ～

三島市消防団のあゆみ	P 1
歴代消防団長	P 7
消防団配置図	P 8
消防団組織	P 9
消防団管轄区域	P 1 0
消防団員定員実員調	P 1 1
消防団員年齢及び階級別調	P 1 2
消防団員所属別勤続年数調	P 1 3
消防団員数推移	P 1 4
消防団出動状況	P 1 5
消防団車両	P 1 6
消防団員報酬	P 1 7
消防団年間主要行事	P 1 8

三島市消防団のあゆみ

江戸時代	消防の発祥は、韮山代官支配の当時、現在の中央町郵便局の所に問屋場があり半官半民的な火消隊や常回りと称する火の番があった。 また田方郡誌によれば青物会合（青物商鳶連合会）なるものがあって消防の任に当たっていたことが記されている。
明治16年	三島の「み」の字にちなみ「み組青物火消」ができた。装備は籠吐水2台。
明治23年	町村制発布記念事業として「み組青物火消」を廃し新たに、公設1組・私設4組を編成した。 なお、同年以降2組を増設して7組とした。
大正6年	公設1組・私設7組を解散し、新たに公設5部250人の編成とした。同5部に初めて鉄骨火の見やぐらが建設された。
大正8年	大阪森田ポンプより手引ポンプ1台を購入し、配置した。
大正9年	残り4組全部森田ポンプより手引きポンプ4台を購入し、配置した。
大正15年	米ノーザン制30馬力手引ポンプ5台を東京報知機より一括購入し、配置した。 なお、従前のポンプは廃止した。
昭和4年4月	日本ゼネラルモーターズ社より1t半トラック1台を購入し、ポンプ積載用として1部2ヶ月交代に使用した。
昭和9年3月	従前の手引きポンプ及び積載トラック1台を提供し、星加自動車にてローターポンプ自動車5台に改造した。 組織を変更して104人とした。
昭和10年4月	隣村、北上村と合併、その区域を1部の組織としたので6部129人となった。なお、手引ポンプ1台を購入し、配置した。
昭和14年2月	勅令により警防団と改称、組織変更により8ヶ分団357人となった。
昭和16年4月	隣村、錦田村と合併、市制を施行し、その区域に8ヶ分団編成したので16ヶ分団626人、ポンプ自動車5台、手引ポンプ5台、腕用ポンプ6台の編成となった。
昭和22年7月	勅命により消防団が公布されたので消防委員会を設置した。
昭和22年12月	消防組織法が公布された。
昭和23年8月	消防法が公布された。
昭和23年8月	警防団を解散し、消防団を編成した。これにより16ヶ分団470人となった。その後一部の分団を編成替えしたので18ヶ分団510人となった。
昭和29年6月	隣村、中郷村を合併、その区域の分団を4ヶ分団としたので消防団の編成は22ヶ分団600人となった。
昭和34年4月	分団を整理統合し、19ヶ分団539人の編成とした。このときの装備は、消防ポンプ自動車8台、手引ポンプ9台、小型動力ポンプ3台である。
昭和38年4月	分団の一部を統合し、18ヶ分団とした。これにより団員数537人となった。
昭和42年4月	消防団条例を全面的に改正し、併せて団員数500人とした。
昭和47年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
昭和48年7月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第13分団に配置した。
昭和51年12月	積載車1台を購入し、第18分団（長伏）に配置した。
昭和52年3月	第5分団車庫、詰所を新築した。

昭和52年10月	第10分団車庫を新築した。
昭和52年10月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、第10分団、第11分団に配置した。
昭和52年12月	第11分団車庫を新築した。 第4分団車庫、詰所を新築した。
昭和52年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
昭和53年 2月	第13分団車庫、詰所を新築した。
昭和53年 8月	第14分団車庫を新築した。
昭和53年10月	災害対策連絡用に携帯無線機5台を購入し、各方面隊長に貸与した。
昭和53年11月	第12分団車庫を新築した。
昭和53年12月	第8分団車庫、詰所を新築した。
昭和53年12月	小型動力ポンプ付積載車3台を購入し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
昭和54年 4月	第17分団車庫、詰所を新築した。
昭和54年 6月	災害対策連絡用として携帯用受信機25台を購入し、団本部及び18ヶ分団に貸与した。
昭和54年 7月	第15分団車庫、詰所を新築した。
昭和54年 9月	第7分団車庫を新築した。
昭和54年 9月	小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、第7分団、第15分団に配置した。
昭和54年12月	第9分団車庫を新築した。第18分団（御園）車庫を新築した。
昭和55年 1月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第9分団に配置した。
昭和55年 2月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
昭和55年 3月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、副団長を4人、本部々長を5人とした。
昭和55年 7月	小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、第18分団（御園）に配置した。
昭和55年 7月	第16分団車庫、詰所を新築した。
昭和55年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団に配置した。
昭和56年 2月	災害対策連絡用として携帯用無線機5台を購入し、消防団本部に貸与した。
昭和56年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第17分団に配置した。
昭和57年 8月	第1分団車庫、詰所を新築した。
昭和57年 8月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第1分団に配置した。
昭和57年 9月	積載車1台を購入し、第18分団に配置した。
昭和57年10月	第18分団（松本）車庫、詰所新築。
昭和58年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第2分団に配置した。
昭和58年11月	積載車1台を購入し、第13分団に配置した。
昭和59年 5月	田方支部消防操法大会のポンプ車操法の部で、第17分団が優勝した。

昭和59年 8月	第3分団車庫、詰所を新築した。
昭和59年10月	第6分団車庫、詰所を新築した。
昭和60年 9月	第18分団（長伏）詰所を増築した。
昭和60年10月	第13分団詰所を増築した。
昭和60年11月	第5分団車庫を増築した。
昭和60年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
昭和60年12月	第10分団車庫、詰所を新築した。
昭和61年 6月	第14分団車庫、詰所を新築した。
昭和61年12月	第8分団車庫、詰所を新築した。
昭和61年12月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、本部々長を7人とした。
昭和62年 2月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第17分団に配置した。
昭和62年 7月	第12分団車庫、詰所を新築した。
昭和62年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第3分団に配置した。
昭和63年12月	第11分団車庫、詰所を新築した。
平成 元年 2月	災害対策連絡用として携帯用受信機20台を購入し、18ヶ分団に貸与した。（第18分団は、松本・長伏・御園）
平成 元年 2月	第2分団詰所を増築した。
平成 2年10月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団（長伏）に配置した。
平成 3年 5月	田方支部消防操法大会のポンプ操法の部で第16分団が優勝、小型ポンプの部で第13分団が優勝した。
平成 3年 9月	平成2年9月15日、集中豪雨により大場川水系の国土保全に尽した功績により内閣総理大臣表彰を受けた。
平成 3年10月	小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、第10分団、第11分団に配置した。
平成 3年10月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
平成 4年12月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
平成 6年 2月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第7分団、第9分団、第15分団に配置した。
平成 6年 3月	消防用施設用地（三島市中287-5第9分団）150.09㎡を購入した。
平成 6年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
平成 8年 2月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団（御園）に配置した。
平成 8年 3月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団に配置した。
平成 9年 2月	第18分団（長伏）車庫、詰所及びホース乾燥塔を新築した。
平成 9年 3月	第6分団車庫、詰所を新築（東分遣所と同一建物）した。
平成 9年 3月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団（松本）に配置した。

平成 9年 3月	第17分団車庫、詰所を新築した。
平成 9年12月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第13分団に配置した。
平成10年 1月	消防ポンプ自動車2台を更新し、第1分団、第2分団に配置した。
平成10年 1月	箱根山組合から寄贈を受けた山林パトロール車を消防団本部に配置した。
平成10年 4月	第15分団を休団とした。
平成11年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第5分団に配置した。
平成13年11月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第3分団に配置した。
平成13年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第17分団に配置した。
平成16年11月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第18分団長伏に配置した。
平成18年 2月	小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、第10分団、第11分団に配置した。
平成18年 9月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部を三島市南田町4番40号に変更した。
平成18年11月	小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、第8分団、第12分団、第14分団に配置した。
平成19年 3月	第18分団（御園）車庫、詰所及びホース乾燥塔を新築した。
平成19年 4月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部に部長、班長、団員の階級を増設、定員を20人増とし、女性消防団員10人が入団した。また、第12分団及び第15分団の定員をそれぞれ10人減とした。
平成19年 4月	消防団協力事業所表示制度を開始した。
平成20年 2月	第13分団車庫、詰所及びホース乾燥塔を新築した。
平成21年 2月	第4分団車庫、詰所を新築した。
平成21年10月	第7分団車庫、詰所を新築した。
平成22年 3月	第16分団車庫、詰所を新築した。
平成22年 4月	三島市消防団の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正し、消防団員の種類を基本団員と機能別団員とし、機能別団員21人が入団した。
平成22年12月	第8分団車庫、詰所を新築した。
平成23年 4月	三島市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正し、団本部に分団長、班長の階級を各1人増員し、団本部定員を33人とした。また、第15分団の定員を1人減とした。
平成23年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第4分団に配置した。
平成24年12月	小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、第7分団、第9分団に配置した。
平成25年 3月	日本消防協会から軽防災活動車が寄贈された。
平成25年 5月	田方支部消防操法大会の小型ポンプ操法の部で、第18分団が優勝。
平成25年12月	消防ポンプ自動車1台を更新し、第6分団に配置した。
平成26年 3月	総務省消防庁から救助資器材搭載型車両（小型動力ポンプ付積載車）及び消防団拠点資器材（エアータント・組立シャワー・救命ボート等）の無償貸与を受け、第18分団（御園）の車両更新を行った。

平成26年 4月	第10分団を休団とした。
平成26年10月	休団であった第15分団を廃団とし、条例定数を491人とした。
平成26年12月	女性消防団訓練用軽可搬式ポンプ1台を購入した。
平成27年 4月	地域社会に貢献したと認められる学生の就職活動を支援するため、学生消防団活動認証制度を開始した。
平成27年 5月	田方支部消防操法大会の自動車ポンプ操法の部で第3分団が準優勝した。
平成27年 5月	箱根山組合から寄贈を受け、山林パトロール車を更新した。
平成27年 7月	消防団用救助資機材（バール）72本を全分団に貸与した。
平成27年10月	女性消防団軽可搬式消防ポンプ操法全国大会へ静岡県代表として出場した。
平成27年12月	小型動力ポンプ付積載車2台を更新し、第13及び18分団松本に配置した。
平成27年12月	第4分団が旧北上分遣所を詰所として供用開始した。
平成28年 4月	旧三島市消防本部が旧裾野市消防本部及び旧長泉消防本部と一部事務組合合併し、富士山南東消防組合が運用開始した。 消防団所管が常備消防から危機管理課へ移った。
平成29年 3月	災害対応用車載用及び基地局用簡易デジタル無線機を購入した。
平成29年 4月	条例改正し、消防団員年額報酬額を増額した。
平成29年 5月	田方支部消防操法大会の小型ポンプ操法の部で第9分団、自動車ポンプ操法の部で第4分団がそれぞれ準優勝した。
平成29年 6月	災害対応用携帯型簡易デジタル無線機を購入し、各分団に配備した。
平成30年 3月	第5分団車庫、詰所を新築した。
平成30年 3月	第16分団の消防ポンプ自動車を更新した。
平成31年 3月	第1分団の消防ポンプ自動車を更新した。
平成31年 4月	消防団員準中型自動車免許取得補助制度を開始した。
令和 元年 5月	田方支部消防操法大会の小型ポンプ操法の部で第11分団が準優勝した。
令和 2年 2月	第2分団の消防ポンプ自動車を更新した。
令和 2年 3月	第3分団詰所を新築した。
令和 2年 8月	小野建設株式会社様から車両の寄贈を受け、団本部に災害対策車（水防用自動車）を導入した。
令和 2年12月	第17分団の消防ポンプ自動車を更新した。
令和 3年11月	三島市消防団応援の店制度を開始した。
令和 4年 2月	第5分団の消防ポンプ自動車を更新した。
令和 4年 2月	退職報償金に係る勤務年数の上限を50年以上とした。
令和 4年 2月	田方支部において、今後は支部操法大会を実施せず、輪番により支部代表を選出することと決定された。
令和 4年 4月	出動報酬及び年額報酬を増額するとともに、報酬の個人支給を開始した。
令和 4年 6月	ドローン隊が発足した。

令和 4年10月	静岡県消防協会において教育訓練指導員制度が廃止され、新たに消防団インストラクター制度を開始した。
令和 4年11月	第3分団の消防ポンプ自動車を更新した。
令和 5年 2月	全基本団員に新基準活動服の貸与を開始した。
令和 5年 9月	消防団DXアプリケーション「Fire Chief」を導入し、運用を開始した。
令和 7年 1月	第14分団詰所を新築した。

歴 代 消 防 団 長

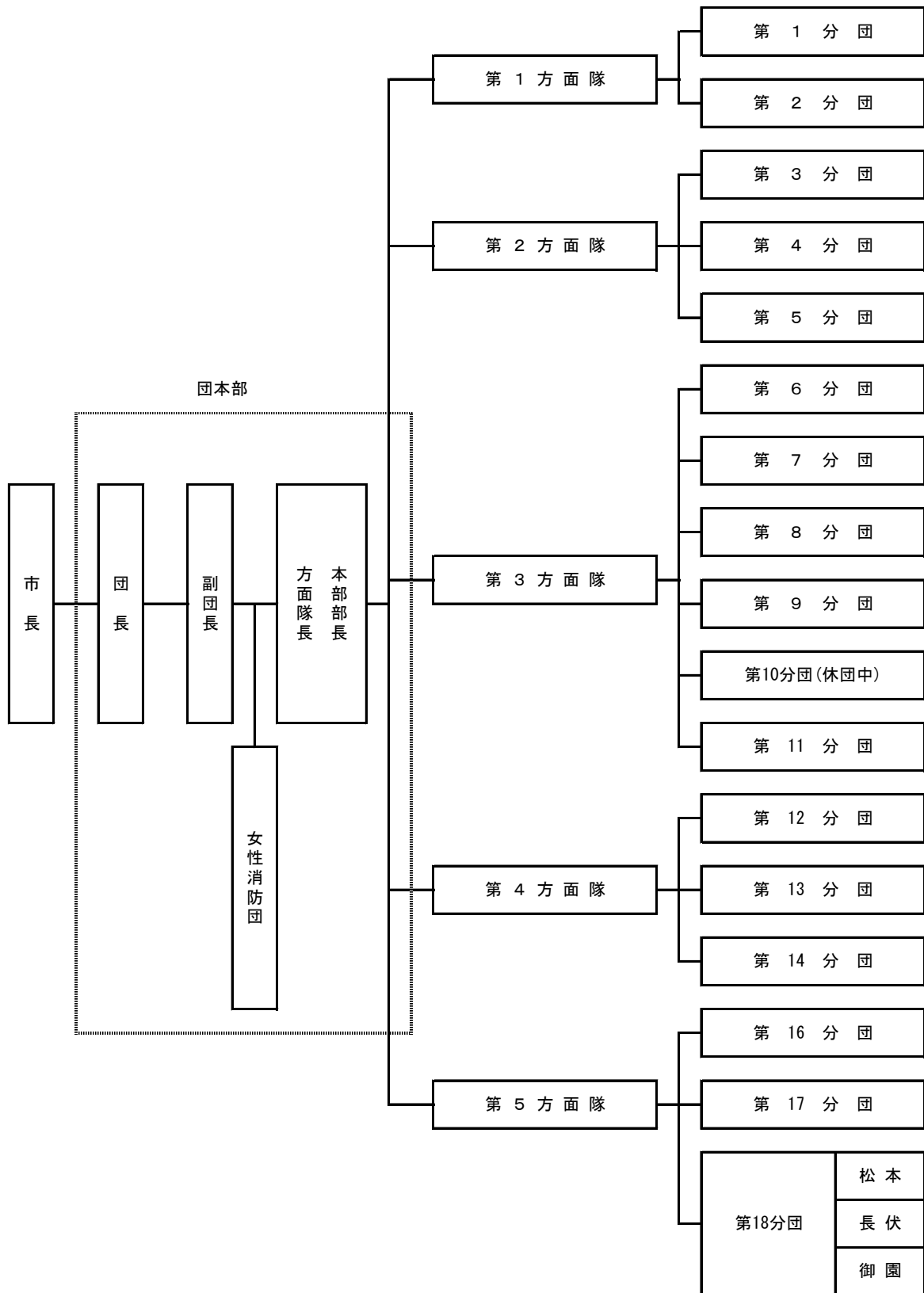
(昭和24年8月消防団編成以降)

代	氏 名	期 間
初 代	松 田 吉 治	昭和21年 9月～昭和24年 2月
2 代	塩 川 立 行	昭和24年 3月～昭和27年 1月
3 代	鈴 木 保	昭和27年 1月～昭和42年12月
4 代	三 田 富 也	昭和42年12月～昭和50年 4月
5 代	細 井 己子夫	昭和50年 4月～昭和53年 4月
6 代	斎 藤 勝 己	昭和53年 4月～昭和61年 4月
7 代	鈴 木 豊	昭和61年 4月～平成 6年 4月
8 代	廣 瀬 光 彦	平成 6年 4月～平成18年 4月
9 代	松 川 益 蔵	平成18年 4月～平成22年 4月
10代	内 野 哲 雄	平成22年 4月～平成26年 4月
11代	水 口 勇	平成26年 4月～令和 6年 3月
12代	風 間 浩	令和 6年 4月～現在

消防団配置図



消防団組織機構図



消防団管轄区域

令和7年4月1日

方面隊	分団名	所在地	管轄区域	実団員	うち機能別団員	所属別定員	詰所建設年
	団本部	南田町	－	17	－	33	富士山南東消防本部三島消防庁舎内
	女性消防団	南田町	－	14	－		
第1方面隊	第1分団	芝本町	加屋町・清住町・三好町・西本町・栄町・西若町・緑町・南町・広小路町・泉町・寿町・本町・南本町・芝本町・一番町	17	3	24	平成6年8月 ※ヒロセパーク併設
	第2分団	北田町	中央町・北田町・中田町・南田町・富田町・大宮町1丁目～大宮町3丁目・加茂川町・若松町・大社町・東本町1・2丁目・南二日町・日の出町・東町・加茂・西旭ヶ丘	22	7	24	市役所庁舎内
第2方面隊	第3分団	沢地	壺町田・沢地・千枚原・光ヶ丘1丁目～3丁目・富士見台・東壺町田・平成台	17	－	25	令和2年3月
	第4分団	徳倉4丁目	文教町1・2丁目・末広町・幸原町1・2丁目・徳倉・徳倉1～5丁目・萩・芙蓉台1～3丁目・富士ビレッジ	30	－	35	平成21年2月 ※旧北上分遣所
	第5分団	佐野	佐野・佐野見晴台1・2丁目	13	1	25	平成30年3月
第3方面隊	第6分団	谷田	谷田（小山）・谷田（小山中島）・谷田（小山押切）・谷田・谷田（雪沢）・谷田（御門）・谷田（東富士見）・谷田（西富士見）・谷田（遺伝学）・谷田（桜ヶ丘）・谷田（アパート）・谷田（並木）・谷田（塚の台）・谷田（小山台）・松が丘	24	5	30	平成9年3月 ※錦田分遣所併設
	第7分団	竹倉	竹倉・柳郷地	10	1	20	平成21年10月
	第8分団	夏梅木	谷田（夏梅木）・錦が丘	12	1	20	平成22年12月
	第9分団	中	中・中（東藤代町）	16	7	25	平成6年10月
	第10分団	玉沢	玉沢・谷田（台崎）	休団 H26	－	25	昭和60年12月
	第11分団	川原ヶ谷	川原ヶ谷（塚の台）・川原ヶ谷（小山）・川原ヶ谷（初音）・川原ヶ谷・川原ヶ谷（緑ヶ丘）・川原ヶ谷（愛宕）・初音台・川原ヶ谷（山田）・川原ヶ谷（小沢）・川原ヶ谷（元山中）（五輪）・旭ヶ丘・三恵台	25	3	30	昭和63年12月
第4方面隊	第12分団	塚原新田	塚原新田・谷田（阿部野）	6	－	20	昭和62年7月
	第13分団	三ツ谷新田	市山新田・三ツ谷新田	23	1	30	平成20年2月
	第14分団	笹原新田	笹原新田（笹原新田）・山中新田（山中新田）・（芦ノ湖高原別荘地）	8	3	20	令和7年1月
	第15分団	山中新田	－	廃団 H26	－	－	－
第5方面隊	第16分団	大場	梅名・中島・大場・多呂・北沢・安久・東大場1・2丁目	32	－	30	平成22年3月
	第17分団	新谷	八反畑・鶴喰・青木・藤代町・新谷・玉川・平田・青木（東藤代町）	30	－	35	平成9年3月
	第18分団	松本	松本	15	－	40	昭和57年10月
		長伏	長伏	15	－		平成9年2月
		御園	御園	6	－		平成19年3月
合計				352	32	491	

消防団員定員実員調

(令和7年4月1日現在)

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	うち機能別	計	所属別 定員
団本部 (女性含む)	1	4	10			2	14		31	33
第1分団			1	1	3	3	9	3	17	24
第2分団			1	1	3	3	14	7	22	24
第3分団			1	1	3	3	9		17	25
第4分団			1	1	3	3	22		30	35
第5分団			1	1	3	3	5	1	13	25
第6分団			1	1	3	3	16	5	24	30
第7分団			1	1	3	1	4	1	10	20
第8分団			1	1	3	3	4	1	12	20
第9分団			1	1	3	3	8	7	16	25
第10分団 休団中									0	25
第11分団			1	1	3	3	17	3	25	30
第12分団			1	1	3		1		6	20
第13分団			1	1	3	3	15	1	23	30
第14分団			1	1	3		3	3	8	20
第16分団			1	1	3	3	24		32	30
第17分団			1	1	3	3	22		30	35
第18分団 松本				1	1	2	11		15	40
第18分団 長伏				1	2	2	10		15	
第18分団 御園			1		1		4		6	
計	1	4	26	17	49	43	212	32	352	491
階級別定員	1	4	25	18	53	54	336		491	

消防団員年齢及び階級別調

(令和7年4月1日現在)

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	小 計	年齢合計
18 歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 歳	0	0	0	0	0	0	4	4	76
20 歳	0	0	0	0	0	0	5	5	100
21 歳	0	0	0	0	0	0	4	4	84
22 歳	0	0	0	0	0	0	2	2	44
23 歳	0	0	0	0	0	0	2	2	46
24 歳	0	0	0	0	0	0	3	3	72
25 歳	0	0	0	0	0	1	4	5	125
26 歳	0	0	0	0	0	3	2	5	130
27 歳	0	0	0	0	2	0	5	7	189
28 歳	0	0	0	0	1	1	2	4	112
29 歳	0	0	0	0	2	3	8	13	377
30 歳	0	0	0	0	1	1	3	5	150
31 歳	0	0	0	1	2	4	4	11	341
32 歳	0	0	0	0	2	2	3	7	224
33 歳	0	0	0	1	2	1	4	8	264
34 歳	0	0	0	1	1	0	1	3	102
35 歳	0	0	0	1	2	0	0	3	105
36 歳	0	0	1	1	2	4	5	13	468
37 歳	0	0	2	1	4	0	3	10	370
38 歳	0	0	0	1	2	3	8	14	532
39 歳	0	0	0	1	3	4	2	10	390
40 歳	0	0	1	1	4	2	3	11	440
41 歳	0	0	0	0	0	3	4	7	287
42 歳	0	0	1	0	4	1	10	16	672
43 歳	0	0	2	1	2	1	6	12	516
44 歳	0	0	2	1	4	1	7	15	660
45 歳	0	0	3	1	3	2	8	17	765
46 歳	0	0	1	0	0	0	10	11	506
47 歳	0	0	2	2	1	0	7	12	564
48 歳	0	0	1	2	0	0	8	11	528
49 歳	0	1	2	0	2	0	8	13	637
50 歳	0	1	2	1	0	1	6	11	550
51 歳	0	0	2	0	0	1	4	7	357
52 歳	0	0	2	0	0	1	5	8	416
53 歳	0	0	1	0	0	1	5	7	371
54 歳	0	1	0	0	0	0	10	11	594
55 歳	0	1	0	0	0	0	7	8	440
56 歳	0	0	0	0	0	0	7	7	392
57 歳	0	0	0	0	0	1	4	5	285
58 歳	0	0	0	0	0	2	2	4	232
59 歳	0	0	0	0	0	0	3	3	177
60 歳	0	0	0	0	0	0	3	3	180
61 歳	0	0	1	0	1	1	2	5	305
62 歳	0	0	0	0	0	0	1	1	62
63 歳	0	0	0	0	1	0	4	5	315
64 歳	0	0	0	0	0	0	1	1	64
65 歳以上	1	0	0	0	0	0	2	3	206
合 計	1	4	26	17	48	45	211	352	https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/
うち女性	0	0	1	0	0	2	11	—	684
平均年齢								#VALUE!	

消防団員所属別勤続年数調

(令和7年4月1日現在)

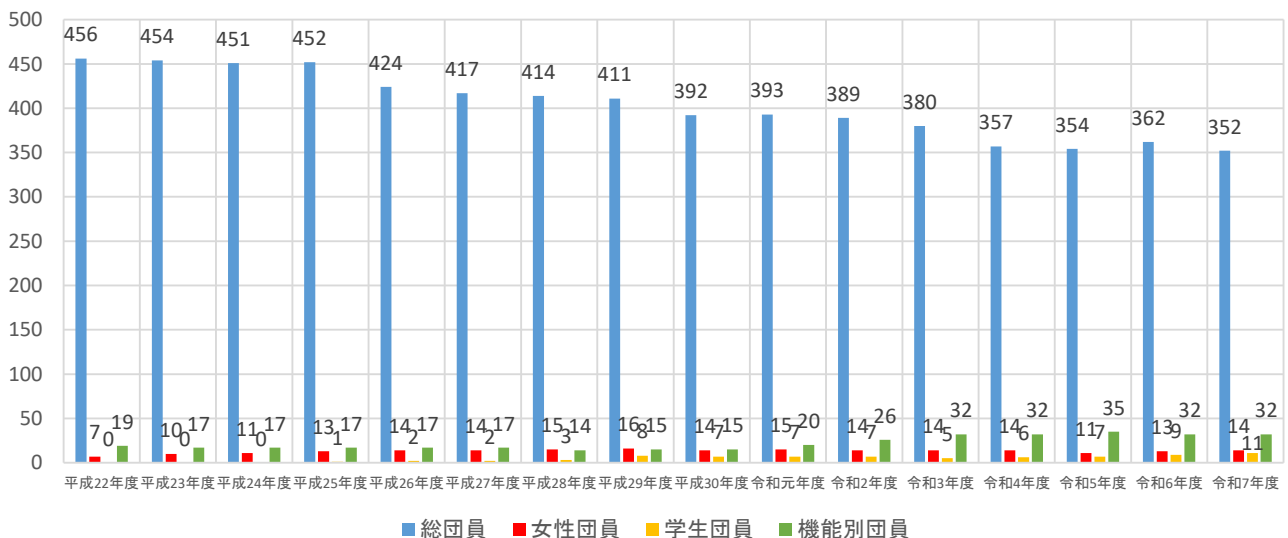
勤務年数 所属	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
団本部	3	4	6	4	5	4	5	31
第1分団	3	3	0	1	2	5	3	17
第2分団	5	4	1	4	2	2	4	22
第3分団	8	1	2	2	2	0	2	17
第4分団	13	8	3	4	2	0	0	30
第5分団	4	3	4	1	1	0	0	13
第6分団	1	0	5	6	4	3	5	24
第7分団	4	2	1	1	1	1	0	10
第8分団	3	3	1	3	1	1	0	12
第9分団	1	1	4	2	3	3	2	16
第10分団 休団中	0	0	0	0	0	0	0	0
第11分団	4	5	3	5	3	1	4	25
第12分団	0	0	1	4	1	0	0	6
第13分団	4	5	7	5	2	0	0	23
第14分団	0	1	1	2	2	1	1	8
第15分団 廃団	0	0	0	0	0	0	0	0
第16分団	13	6	4	7	2	0	0	32
第17分団	7	1	6	6	3	3	4	30
第18分団（松本・ 長伏・御園）	4	9	4	3	7	5	4	36
計	77	56	53	60	43	29	34	352

消防団員数推移

(基準日 各年度4月1日)

	条例定数	総団員	女性団員	学生団員	機能別団員	充足率	平均年齢
平成22年度	500	456	7	0	19	91.2%	34.9
平成23年度	500	454	10	0	17	90.8%	35.6
平成24年度	500	451	11	0	17	90.2%	36.1
平成25年度	500	452	13	1	17	90.4%	36.6
平成26年度	500	424	14	2	17	84.8%	36.6
平成27年度	491	417	14	2	17	84.9%	37.4
平成28年度	491	414	15	3	14	84.3%	37.9
平成29年度	491	411	16	8	15	83.7%	38
平成30年度	491	392	14	7	15	79.8%	38.5
令和元年度	491	393	15	7	20	80.0%	39.1
令和2年度	491	389	14	7	26	79.2%	40
令和3年度	491	380	14	5	32	77.4%	40.6
令和4年度	491	357	14	6	32	72.7%	41.3
令和5年度	491	354	11	7	35	72.1%	41
令和6年度	491	362	13	9	32	73.7%	41.6
令和7年度	491	352	14	11	32	71.7%	42.1

団員数の推移



消防団出動状況

(令和6年度)

項 目 月別件数 及び人員		火 災					警 戒			訓 練		その他			合 計
		建物	車両	林野	その他	市外	災害 対応	警戒・ パトロー ル	搜索	消防 団訓 練等	防災訓 練等指 導	誤報	行事 イベント	会議 等	
4 月	出動件数		1					1		20				53	75
	出動人員		29					5		546				695	1, 275
5 月	出動件数	2			2		1			19		1	2	38	65
	出動人員	156			52		37			461		83	133	350	1, 272
6 月	出動件数	1	1				2	1		22	16		3	37	83
	出動人員	128	26				225	14		302	31		234	250	1, 210
7 月	出動件数		1				3			25	20		2	46	97
	出動人員		32				11			419	58		12	371	903
8 月	出動件数						2	1		24	6	1	8	32	74
	出動人員						180	10		380	62	54	222	140	1, 048
9 月	出動件数	1								18	5		2	62	88
	出動人員	61								487	50		8	348	954
10 月	出動件数		1		1					15	8		1	46	72
	出動人員		14		24					645	34		10	338	1, 065
11 月	出動件数	1					2	1		15	17		8	50	94
	出動人員	74					184	2		457	129		622	321	1, 789
12 月	出動件数	3		1				3		17	12	2	3	48	89
	出動人員	258		50				35		422	100	170	266	241	1, 542
1 月	出動件数	2						2		16	2	1	39	47	109
	出動人員	150						4		386	4	64	555	272	1, 435
2 月	出動件数	2			1		2	1		17	1		2	46	72
	出動人員	157			33		13	11		414	1		19	330	978
3 月	出動件数							1		16			8	49	74
	出動人員							15		463			625	257	1, 360
計	出動件数	12	4	1	4	0	12	11	0	224	87	5	78	554	992
	出動人員	984	101	50	109	0	650	96	0	5, 382	469	371	2, 706	3, 913	14, 831

消防団車両

1 消防ポンプ自動車等

分団名	車両番号	登録年度	車名	種 別	免許	備考
第1分団	伊豆 801 さ 1	H 3 0	いすゞ	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第2分団	伊豆 830 に 2	R 1	日野	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第3分団	伊豆 830 や 3	R 4	日野	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第4分団	伊豆 830 さ 324	H 2 3	いすゞ	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第5分団	伊豆 830 に 5	R 3	日野	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第6分団	伊豆 830 さ 36	H 2 5	トヨタ	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第7分団	伊豆 800 と 7	H 2 4	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第8分団	伊豆 800 そ 8	H 1 8	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第9分団	伊豆 830 た 9	H 2 4	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第10分団	伊豆 800 さ 19	H 1 7	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	予備車
第11分団	伊豆 800 さ 20	H 1 7	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第12分団	伊豆 830 さ 12	H 1 8	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第13分団	伊豆 800 さ 2211	H 2 7	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	準中型	
第14分団	伊豆 830 さ 14	H 1 8	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第16分団	伊豆 800 さ 2641	H 2 9	いすゞ	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第17分団	伊豆 830 ね 17	R 2	日野	消防ポンプ自動車 CD- I	準中型	
第18(松本)	伊豆 800 さ 2212	H 2 7	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第18(長伏)	伊豆 800 さ 23	H 1 6	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	普通	
第18(御園)	伊豆 800 さ 1930	H 2 5	いすゞ	小型動力ポンプ付積載車	準中型	消防庁 貸与

2 その他車両

車両名	車両番号	登録年度	種別	備考
ニッサンクリッパーバン	伊豆 880 あ 360	H 2 4	軽防災活動車	日本消防協会寄贈
ミツビシデリカ	伊豆 300 た 6243	H 2 7	山林パトロール車	箱根山組合貸与
トヨタ R A V - 4 X	伊豆 800 さ 3052	R 2	水防車	小野建設(株)寄贈

消防団員報酬

1 年額報酬（基本団員対象）（令和 7 年 4 月 1 日現在）

階級	金額
団長	85,000 円
副団長	69,000 円
分団長	55,000 円
副分団長	46,000 円
部長	41,000 円
班長	38,500 円
団員	36,500 円

2 出勤報酬（令和 7 年 4 月 1 日現在）

大区分	中区分	金額
災害	火災、風水害等	1 回につき 8,000 円
警戒	警戒巡回、捜索、火災（誤報・活動なし）等	日額 4,000 円
訓練	全体訓練	日額 4,000 円
	分団訓練	日額 2,000 円
その他	主要行事、防災訓練指導	日額 4,000 円
	分団行事、会議等	日額 2,000 円

消防団年間主要行事

- (1) 入退団式（４月）
新入団員、新役員への辞令交付、退団者への感謝状贈呈、永年勤続者への表彰伝達等を行う式典。
- (2) 水防訓練・情報伝達訓練（５～６月）
出水期に備え、市・消防署・消防団の連携強化のため風水害時を想定した情報伝達訓練や土のう作り等の水防訓練を行う。
- (3) 分団査察
各分団の整列状況、服装点検・車両点検の状況、積載物品の管理・保管状況、貸与物品の管理状況、備品台帳・SKY 表の管理状況等について、団本部が査察を行う。
- (4) 三嶋大まつり祭典警備（８月）
三嶋大まつりにおいて、祭典警備本部での警備、山車競り合いや子供しゃぎり大会、頼朝公旗揚げ行列等の警備、手筒花火警戒等を行う。
- (5) 秋季訓練（１０月）
これまで秋季訓練では日ごろの訓練成果を披露するため消防操法査閲大会等を行ってきたが、三島市における操法大会は廃止としたため、今後はより実践的で事前練習の負担が少ない訓練を行う（令和６年度は放水訓練を実施）。
- (6) 消防フェア（隔年開催 ※前回は令和５年１１月）
火災予防と火災発生時の対応、消防署や消防団の活動紹介、市民と消防のふれあいを目的として行う（富士山南東消防本部主催）。
- (7) 秋の火災予防週間
１１月９日「１１９番の日」から１１月１５日までの秋季全国火災予防運動の期間、各分団で管轄内を見回り、火災予防の広報活動を行う。
- (8) 三島市総合防災訓練
総合防災訓練に参加し、放水体験や消火器体験等の指導、消防ポンプ車等の掲示や啓発活動等を行う。
- (9) 年末年始特別警戒
１２月２９日から１月３日までの年末年始の期間、各分団で管轄内を見回り、火災予防の広報活動を行う。
- (10) 三島市消防出初式
式典では部隊検閲及び車両検閲、消防団員の各種表彰を行う。式典終了後には大通り商店街にて、幼年消防クラブ園児、消防団員及び救助隊の徒歩分列行進と車両パレードを行う。
- (11) 防火パレード
春の火災予防週間の前後に消防車両が隊列を組んで市内全域を巡回する防火パレードを行う。
- (12) 春の火災予防週間
３月１日から３月７日「消防記念日」までの春季全国火災予防運動の期間、各分団で管轄内を見回り、火災予防の広報活動を行う。



令和 7 年度版 消防団年報

発行年月	令和 7 年 9 月
発 行	静岡県三島市南田町 4 番 4 0 号 三島市消防団本部
編 集	三島市企画戦略部危機管理課
T E L	0 5 5 - 9 7 2 - 5 8 2 0
F A X	0 5 5 - 9 7 2 - 5 8 7 0